移動等円滑化取組計画書

2025年6月30日

住 所	大阪市阿倍野区松崎町2-2-25 阿倍野松崎町NKビル2階
事業者名	西日本ジェイアールバス株式会社
代表者名（役職名及び氏名）	代表取締役社長 北野 眞

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 乗合バス車両整備に関する事項

- ・当社が保有する乗合バス車両(一般線)においては、2024年度末時点でのノンステップバス運用率は、99%となっており引き続きこの割合を維持していく予定です。
- ・当社が保有する高速バス車両において、バリアフリー車両としてダブルデッカーバスの運用をしており、運用率10%程度を維持しつつ車両更新を進めて行く予定です。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練などに関する事項

- ・サービス介助士資格の保有率については、引き続き60%以上を維持していく。
- ・スムーズな対応を行なうため、継続した教育を実施していく。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
・ノンステップバス ・ダブルデッカーバス	・ノンステップバス 購入計画なし ・ダブルデッカーバス 購入計画なし

② 旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス介助士資格の取得を促進し、お客様の円滑にご利用できる介助にむけて、社員への教育を充実させる。 ・バリアフリー車両へのスムーズな車椅子移動の教育を充実する。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
案内の充実 乗降時の介助	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪駅 JR 高速バスターミナルの行先案内表示機については、高齢者にも視認しやすくするため、表示には青色に白文字を基本として情報を提供する。 ・大阪駅 JR 高速バスターミナル内では車椅子を 1 台設置しており、引き続き必要に応じて対応できるようにしていく。

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
案内の充実	大阪駅 JR 高速バスターミナル内にサービス介助士が常駐していること、車イスをご用意していることをステッカーにより待合室などでご案内する。

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
運転士の技術向上	<ul style="list-style-type: none"> ・社内で実施する運転競技会において、障がい者の方の乗降支援を審査項目としてかかげ、技術向上として実施する。 ・定期的な教育訓練において、運転士へのバリアフリー訓練を引き続き実施する。

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての旅客施設及び車両等の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
広報活動	当社ホームページにて車椅子ご利用方法を提示している。

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・本社営業統括部をバリアフリーサポートの主管部として推進体制を構築する。
--

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

V 計画書の公表方法

当社ホームページで公表する。

VI その他計画に関連する事項

--

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、本計画書の公表方法（インターネットの利用等）について記入すること。

3 VIには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。